



news

2005年8月28日

「ジョージア」新キャンペーンスタート

夢に向かって前向きに頑張っている若者にエールを送る

“じぶんの道を、歩くのだ！ We are GEORGIAN！”

◆第1弾TV-CM『立ち上がり』篇に、竹中直人・野茂英雄・丸山和也が、
前向きに自分の世界で頑張っている
“GEORGIAN（ジョージアン）”の代表として登場！！

◆CM楽曲はサンボマスターが和田アキ子の名曲
「あの鐘を鳴らすのはあなた」をカバー

- 第1弾TV-CM『立ち上がり』篇（30秒/15秒）が9月7日（水）から全国でオンエア-
- CM楽曲は、サンボマスターが和田アキ子の名曲「あの鐘を鳴らすのはあなた」を
キャンペーン用にアレンジしたスペシャルバージョン-



「ジョージア」新TV-CM「立ち上がり」篇より

コカ・コーラシステムは、「ジョージア」の5年ぶりとなるブランド全面リニューアルに伴い、新広告キャンペーン「じぶんの道を、歩くのだ！ We are GEORGIAN！（ジョージアン）」を、2005年9月7日（水）より大々的にスタートさせます。

*

■ 2005 広告キャンペーンコピーは「じぶんの道を、歩くのだ！ We are GEORGIAN！」

2005 新広告キャンペーンコピーは、「じぶんの道を、歩くのだ！ We are GEORGIAN！」。このキャンペーンコピーには、世間の常識や評価にとらわれず、自分が身を置く世界で、夢に向かって前向きに頑張っている、今を生きる 20～30 代の若者に対する応援メッセージが込められています。キャンペーンでは、夢に向かって前向きに頑張っている若者を「GEORGIAN（ジョージアン）」として定義し、その「GEORGIAN 達」のひたむきな努力と夢、情熱を伝えることで、夢を持ちにくい今の時代を生きる全ての人々に前向きなメッセージを伝えていきます。

キャンペーンでフォーカスをあてるのは、「じぶんの道を歩いている」、リアルな、今の時代を生きている若者達です。それぞれの道で、それぞれの夢に向かって頑張っている、彼らの日常を切り取って伝えていきます。

■ TV-CM「立ち上がり篇」には GEORGIAN の代表として、じぶんの道を歩き続けた結果、夢を実現させたセレブリティ 3 名が登場。

キャンペーンの立ち上がり期の9月7日から放映予定のTV-CM「立ち上がり篇」には、自分の道を歩き続けた結果、夢を実現させた、かつてのGEORGIAN達の代表として、俳優の竹中直人さん、プロ野球選手の野茂英雄さん、弁護士の丸山和也さんの3名が出演。彼らが自分の若き日を回想しながら、今の自分と対比させることで、夢に向かって頑張っている今日の若者にエールを送ります。3人とも、若き日に、将来の自分の姿を夢見て目標を定め、辛く、厳しい下積みの時代を経験してきたという点で、共通の過去を持っています。竹中さんは「俳優になりたい」という夢を捨てきれずに27歳でデビューし、野茂さんはプロ野球選手になることに対して「お前はムリだ」と周囲から説教されても野球をあきらめず、丸山さんは「広い世界を見たい」という想いに突き動かされて、未知の世界である国際弁護士の道を目指して、それぞれスタートを切りました。そして、今や、自分が身をおく世界で、確固とした地位を築いています。そのような竹中さん、野茂さん、丸山さんに「ジョージア」TV-CM「立ち上がり」篇に登場していただくことで、「じぶんの道を、歩くのだ！ We are GEORGIAN！」というキャンペーンコピーを広く訴求していきます。

「立ち上がり篇」の後は、夢を実現に向けて「じぶんの道を歩く」、実在の若者達を取り上げシリーズ化していくことで、キャンペーンのメッセージを訴求していきます。

■ CM楽曲はサンボマスターがカバーする和田アキ子さんの名曲「あの鐘を鳴らすのはあなた」

「ジョージア」新キャンペーンの楽曲には、頑張る人を応援する希望に満ちた歌詞が印象的で、また、幅広い世代の人々に親しまれている和田アキ子さんの名曲、「あの鐘を鳴らすのはあなた」を採用。そしてその名曲を、若者の間で人気のロックバンド、サンボマスター（山口 隆、木内 泰史、近藤 洋一）が、彼ら独特の世界観でアレンジしたスペシャルバージョンとしてカバーします。不器用ながらも自分達のスタイルを貫き、じぶんの道を歩くその姿に若者だけでなくサラリーマンや女性からも共感を得ているサンボマスターが、「じぶんの道を歩く」人々に力強くエールを送ります。

コカ・コーラシステムは、ジョージア新広告キャンペーン「じぶんの道を、歩くのだ！ We are GEORGIAN！」を通じ、夢に向かって前向きに頑張っている「GEORGIAN」を応援していきます。

■「ジョージア」TV-CM「立ち上がり」篇ストーリー

『笑いながら怒る人』など、独特の存在感がある芸風で、突如お笑い界を席卷した竹中直人氏。当時彼は、27才。その頃、彼は俳優になりたいくて、でもどうすれば俳優になれるのかわからず、がむしゃらに突き進むばかりでした。

竹中氏を一躍有名にした『笑いながら怒る人』の当時の映像(花王名人劇場)や、ブルースリーの物まね(1983年、全日本そっくり大賞)の映像に、竹中氏の当時からの夢であった“俳優”への思いを語るコピーが入ります。

すると一転、場面は現在の竹中氏の映像へ。いまや第一線で活躍する俳優となり、映画セットの脇で監督とともに演技について語りあう、竹中氏の真剣な表情をカメラはとらえます。

続いて登場するのは丸山和也氏。司法試験の難関をパスしながらも、幼い頃からの夢であった、広い世界を見たいという気持ちをかなえるべく、30才を過ぎて海外留学をした丸山氏。留学当時のアメリカでの写真、念願かなってアメリカのロースクールを卒業した32才の頃の写真に、“世界”への夢を語るコピーが入ります。すると画面は、現在の丸山氏の映像へ。国際弁護士として活躍し、外国人と渡り合っていく丸山氏のいきいきとした表情をカメラはとらえます。

次に登場するのは、緊張した面持ちでドラフト会議(1989年)にのぞむ野茂英雄投手。高校卒業後、社会人野球で活躍しながらプロを目指した野茂投手。日本人が本場アメリカで投げることになるなど、本当に夢の夢だった1988年。ソウルオリンピックの日本代表に選ばれた野茂投手は、世界の舞台を経験し、まだアマチュアでありながら、すでにアメリカで勝負することを夢みていました。

ドラフト会議に続いて場面は、ソウルオリンピックの日本代表に決まった当時の、国際試合で投げる野茂投手の投球へと移り、そこに、当時の野茂投手の夢を語るコピーが入ります。

野茂投手が投げると同時に、画面は歓声に湧くスタジアムへ。がむしゃらに、またはマイペースで、自らが抱いてきた夢をかなえ、今も歩き続ける3氏。

ジョージアの缶が黒バックの画面に飛び込んでくると、3氏の若い頃の姿を背景として、“じぶんの道を、歩くのだ！”というキャンペーンメッセージが決まります。

夢を持ち、志を曲げることなく、じぶんの道を歩みつづける先輩 GEORGIAN たち。“じぶんの道を、歩くのだ！”というその言葉は、今なお前へ進みつづける先輩たちに贈るジョージアからの賛辞であり、ジョージアと先輩たちから、若き GEORGIAN たちへ贈るエールでもあるのです。

■「ジョージア」TV-CM「立ち上がり」篇 丸山弁護士撮影エピソード

8月初旬の暑い日。東京お台場近郊にあるビルのワンフロアを借り切って、CM撮影が行われました。その日は、丸山さんが外国人を含むスタッフとビジネストークを繰り広げるシーンの撮影でした。

ノーネクタイの白いシャツに、茶系のスーツという着こなしで、撮影現場入りした丸山さん。当日は朝の生番組に出演してからの現場入りとなりましたが、疲れを全く見せずに、きれいに日焼けした顔に、時折、白い歯を見せて、人なつっこい笑みを浮かべていました。

撮影前に、監督と立ち位置や動作についての確認をする丸山さん。監督の説明を聞く目も真剣そのもの。そして、いざ撮影セットのオフィスデスクの前にスタンバイ。カメラがまわる前に、エキストラに「よろしく」と声をかけて、細かい気遣いを見せていました。

今回の撮影では、外国人のエキストラとの会話の場面が中心となるだけに、丸山さんのアメリカ仕込みの流暢な英語が撮影現場に響き渡りました。エキストラと握手したり、肩をたたいて激励したりする様子は、まるで、普段の弁護士としての丸山さんの姿を垣間見せるものでした。

撮影後、監督とモニターを食い入るように眺めていた丸山さんが、自分の映像を見て、「これいいね」と自ら太鼓判を押している場面もありました。

今回のCM撮影の感想を聞くと、「まず、ほっとしました。ごく自然な場面でも、CM撮影は演出が必要なので、緊張しました。ただ、みんなとの相性がよかったので、落ち着いて、自然にやらせてもらった」と答えていました。

今回のCMのために自身で選んだ32歳当時の写真を見た感想を聞くと、「ジンと来るものがある」と答えられた丸山さん。その背景をさらに聞くと、30歳の時に、「これからどうなるのだろうか？ でも、今動かなければ！」という想いに突き動かされ渡米したときの様子を思い出したということです。59歳にしてマラソンにチャレンジした不屈のスピリッツのルーツは、この30歳の時の決断に由来しているのかも知れません。

弁護士の資格を取得してからの渡米のきっかけを聞くと、「弁護士の仕事をしていると、海外のことや、貿易のことが多く、国際的な感覚が必要と痛感した」という答えが返ってきました。

今後の目標についても聞いてみると、「今まで自分が歩んできた道を信じて、自分流に、世の中のために仕事ができたら幸せです」と力強くお答えになっていました。

<ジョージアTV-CM We are GEORGIAN!『立ち上がり』篇 (15/30秒) >

俳優なんて、
夢だと思った。

(字幕スーパー)

竹中直人 27才

世界を見たい。
国際弁護士になろう。

(字幕スーパー)

丸山和也 32才

夢は、世界に通用する
プロになること。

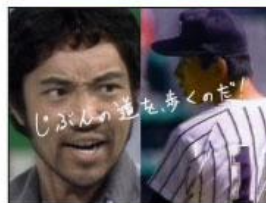
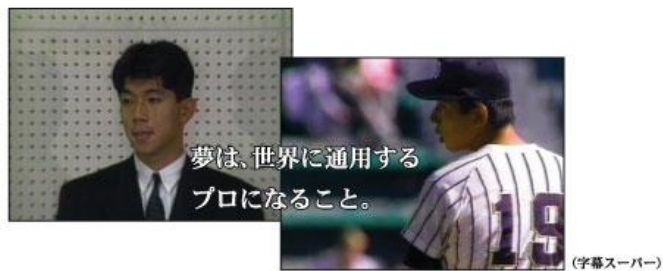
(字幕スーパー)

野茂英雄 19才




Na:
**じぶんの道を、
 歩くのだ！
 ジョージア。**

<ジョージアTV-CM We are GEORGIAN!『立ち上がり』篇 (15秒) >



Na:

じぶんの道を、
歩くのだ！
ジョージア。



<CM出演者プロフィール>

■ 竹中 直人(たけなか なおと)

生年月日:1956年3月20日

出身地:神奈川県

多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業

昭和55年より平成2年まで劇団青年座に在籍

デビュー:昭和58年テレビ朝日系「ザ・テレビ演芸」

映画:2005年「サヨナラ COLOR」第5回監督作品、「妖怪大戦争」

TV:TBS「あいくるしい」2005年4月～

■ 野茂 英雄(のも ひでお)

生年月日:1968年8月31日

出身地:大阪府

プロ年数:15年

1996年:ノーヒット・ノーラン達成(対ロッキーズ戦)

2001年:ノーヒット・ノーラン達成(対オリオールズ戦)

※ナショナル・アメリカン両リーグでノーヒット・ノーラン達成したのは史上4人目

■ 丸山 和也(まるやま かずや)

1946年兵庫県生まれ。69年早稲田大学法学部卒業、

69年早稲田大学法学部卒業、上級職試験合格後法務省を経て、70年に司法試験に合格。76年渡米。

ワシントン大学ロースクールに入学し卒業(LLM)、その後ロサンゼルス法律事務所にて3年間勤務。80年に帰国後、弁理士登録を経て特許事務をも扱う。

企業間の紛争・交渉等を中心とした国際法務を得意とする他、各種特許紛争および個人の問題も幅広く取り組む。現在、「丸山国際法律特許事務所」代表。

主な著書に、「正義の判決」(小学館)、「行列のできる丸山法律塾」(小学館)、「丸山法律相談所」(二見書房)、「ビジネスマンが行列する法律相談所」(学研)、「蓮の花は泥沼に咲く」(新紀元社)がある。

<サンボマスタープロフィール>

山口隆(vo&g)、近藤洋一(b&cho)、木内泰史(dr&cho)が2000年に結成。山口の渾身のヴォーカルと、ソウル魂が炸裂するロック・サウンドでインディーズ・シーンの中でも異彩を放つ存在となり、様々なコンピレーションアルバムに参加。03年、メジャー・レーベルからリリース、同年リリースした1stフル・アルバム『新しき日本語ロックの道と光』が爆発的なヒットを記録した。その後、“コザック前田と泉谷しげる”やYO-KINGのシングル「審美銃」のバック・バンドをつとめたり、あのカリスマ松尾スズキの映画『恋の門』の主題歌に「月に咲く花のようになるの」が抜擢されたりと、音楽関係者やアーティスト筋にも大絶賛されている。

その熱いメッセージ、サウンド、そしてまっすぐ音楽と向き合っている彼らの真摯な姿勢は、今、圧倒的な支持を集めている。

<「ジョージア」TV-CM「立ち上がり」篇 スタッフリスト>

● 広告会社	: 株式会社電通
● シニアクリエイティブディレクター	: 和田光弘
● プランナー	: 西橋佐知子、小山田彰男
● コピーライター	: 西橋佐知子、中川英明
● アートディレクター	: 塚本哲也、有田維男
● エージェンシープロデューサー	: 捧昇司、中尾綾子
● 制作プロダクション	: 株式会社葵プロモーション
● プロデューサー	: 田之江秀泰
● プロダクションマネージャー	: 吉田宗太
● 演出	: 宮坂和幸
● 撮影	: 山本トオル
● 照明	: 富田貴
● 美術	: 黒崎清人
● スタイリスト (竹中直人)	: 伊藤佐智子
● ヘアメイク (竹中直人)	: 山内聖子
● スタイリスト (丸山和也)	: UME
● ヘアメイク (丸山和也)	: 長谷川由加子